

第71回宇宙政策委員会 議事録

1. 日時：平成30年8月31日（金） 14:00－15:05

2. 場所：内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

葛西委員長、松井委員長代理、青木委員、遠藤委員、折木委員、後藤委員

(2) 政府側

和泉内閣総理大臣補佐官

高田宇宙開発戦略推進事務局長、行松審議官、高倉参事官、森参事官、山口参事官

(3) オブザーバー

山川JAXA理事長

4. 議事次第

(1) 今後の宇宙政策委員会各部会の検討の進め方について

(2) 今後の宇宙政策委員会の検討体制について(宇宙法制小委員会の設置について)

(3) 国立研究開発法人宇宙研究開発機構の平成29年度及び第3期中期目標期間における業務実績評価について

(4) その他

5. 議事

(1) 今後の宇宙政策委員会各部会の検討の進め方について

事務局より今後の宇宙政策委員会の各部会の検討の進め方について説明したところ、委員から以下の様な意見があった。(以下、○委員からの意見、質問)

○海洋状況システムの議論は工程表にも載っており進んでいるが、海洋状況把握というのはもっと幅広い、地域的にも幅広いものがあり、広く捉えなければいけない。そうすると、やはり衛星が非常に大事になるので、海洋本部とそのような観点でもう少ししっかり議論してもらって、工程表の中にもはめ込んでいく必要があると思う。それから、AI技術の活用も、安全保障だけの話ではなくて、トータル的に関係する話なので、政策委員会の中でも立ち位置を決めておいたほうがよいのではないかと思う。(折木委員)

○今の意見に関連して、結局人材がないことが課題である。AIにしても宇宙安全保障にして

もほとんど人材がない。したがって、防衛大学校でそういうカリキュラムを組んで、将来を見据えた人材育成を考えているのかどうかということが重要だと思う。これは早急に立ち上げないといけない。大学院レベル、いろいろなところに派遣してさらに育てていくようなシステムが必要ではないか。防衛省としても対策をすぐに進めてもらいたい。(松井委員長代理)

○おっしゃるとおりスピード感の問題がある。例えば防衛大学校とJAXAとの間でも話があるが、人材育成をやらなければいけない。一方、スピードが求められる観点からは、やはり今、専門家である人たちの知見をどうやって活用するかというシステムも大事という気がする。企業を見ると専門家の方はたくさんいる。それぞれのところに知見がたくさんある気がする。それを結集して考え方をまとめられないのかと思っている。(折木委員)

○その観点では、防衛的な研究と大学との間の議論があって、本当に憂慮すべき時代だと思う。もう少し防衛大学校と大学との間にも交流があっていいはずだし、物理とか、ソフト化とかいろいろな大事な分野があると思うが、何となく世の中の的には非常にマイナスの、昔の方向に逆戻りしているような感じがある。これをどうやって打開するかというのは非常に重要だと思う。独自にできるところはぜひ進めていただきたい。そういう活動を本委員会レベルでもサポートするということが重要だと思う。(松井委員長代理)

○国内には人材がないのかもしれないのであれば、現実運用していろいろな要素技術も統合しているだろう米軍とか、アメリカの安全保障、国防総省関係の人材との連携も考えてはどうか。アメリカでも、安全保障の面で宇宙の協力をしなければいけないという意識は高まっているのではないか。(葛西委員長)

○カウンターパートとの情報交換とか、情報共有も含めて進めていくというのはたいへん大事だと思う。今まで育ててこなくて遅れている部分があって、実質的には限られた人間だが、いろんな訓練をやったり、国防総省関係と調整をしたりしているが、事業化には結びついていない。それと、細かな話になると、技術情報の秘匿性の問題がある。この前、国防総省と別の会議では、やはりそのような技術的なことを日本側にリリースしなければいけないと、一部ではそういう考えが出てきていると感じた。この点を日本側としても、もう少しプッシュして、広げていかなければいけないという感覚を持っている。(折木委員)

○今後の検討の進め方ということで、工程表は基本的には1年ごとのローリングプランであるので、今までの延長線上の議論あるいは論点とは別に、工程表の中で新しく出てきている視点あるいは論点は説明あるいは説明資料の中でぜひハイライトしていただきたい。スクラップ・アンド・ビルドで、スクラップするものは多分そんなには無いだろうけれども、もうある意味でこの工程表に書く必要がないくらいに一般化しているものは、例えば捨象してしまって、

工程表の重点化を図っていくようなことも必要なのではないか。(後藤委員)

(2) 今後の宇宙政策委員会の検討体制について(宇宙法制小委員会の設置について)
事務局より宇宙法制小委員会の設置について説明を行ったところ、委員より以下の意見があった。

○このような検討を行うことは賛成である。(後藤委員)

○宇宙法制小委員会設置について、賛成ということよろしいでしょうか。(葛西委員長)
(一同同意)

(3) 国立研究開発法人宇宙研究開発機構の平成29年度及び第3期中期目標期間における
業務実績評価について
事務局より国立研究開発法人宇宙研究開発機構の平成29年度及び第3期中期目標期間
における業務実績評価について説明を行った。

(4) その他
事務局より次回会合日程案について連絡を行った。

以上